Sports Net ちば 2020年３月号

New Japan Sports Federation in Chiba Prefecture

2020年３月１日

「スポーツは平和とともに」

新日本スポーツ連盟千葉県連盟

〒263-0024 千葉市稲毛区穴川3-1-17

Tel 043-287-7353 Fax 043-256-1454

URL http://njsf-chiba.perma.jp

E-mail njsf1970chiba@gmail.com

発行人 園川 峰紀

通巻 **215号**

嵐（台風）にも負けずスキー祭典開催
吹雪も吹き飛ばし好天（スキー日和）に

開催前からアクシデントが
予定していた宿の屋根が飛んじゃった～

２月８日（土）午後出発、１１日（火・祝）夜帰着の日程で、志賀高原一ノ瀬スキー場を中心に第５５回千葉県スキー祭典が行われました。

昨年の台風で宿泊を予定していたホテルマウント志賀の屋根が飛んでしまうというアクシデントがあり、当初は、開催も危ぶまれていましたが、旅行会社とホテルの尽力で、隣接する「ホテルアララギ」に50人限定ではありましたが、宿を確保することが出来、何とか開催までこぎ着けました。

人数が限定されたことから、お申し込みいただいた何人かの方はお断りせざるを得ませんでした。

みなさん、来年の参加をお待ちしていますね！

この屋根が、今やブルーシート

のんびり宿でくつろいで、
ついでにエレベーターものんびり！？

今回は千葉を１４時頃に出発したおかげもあり渋滞にも遭わず、２０時頃には宿に到着。

24時間入浴が可能なお風呂でのんびりくつろいだり、明日の滑走に備え板の手入れをしたり、初日の夜は思い思いに過ごすことが出来ました。

1日もったいないとか、いろいろな意見もありましたが、のんびり出来た事への共感の声が多かったようです。

でも、こんな声も・・・

部屋は四階、乾燥室は地階。どうしても、エレベーターを使いたくなる距離ですが、このエレベーターがくせ者！　歩いた方が早くつくようなのんびりしたエレベーターで、しかも１台。

足腰の鍛錬をされた方も多かったようです。

あなたは何派？
好評の選べるスキー教室

年間の滑走日数や直近の滑走日を聞いた上で、技術レベルを自己申告してもらい、「がっつり滑走したい」「しっかりレッスンを受けたい」「のんびりレッスンを受けたい」と希望を書いてもらい、教室の班編制をしました。

スキー場常設のスクールだと一人５人～８人程度は当たり前ですが、祭典のスクールは１人から、多くても５人まで。まるでプライベートレッスンみたいです。

ちばスキー協（千葉県勤労者スキー協議会）には現在初級指導員５名、中級指導員１名が在籍していますが、６名ではこうした体制がとれないため、東京スキー協所属の「てんとおむし」というクラブから応援の指導員を招いてこうした体制がとれています。（「ありがとう。『てんとおむし』」）

また、クラスによっては、ビデオ撮影もあり、映像を見ながら宿でも講習という熱心な班もありました。

ゲレンデツアーも
好天やゲレンデバリエーションも豊富で

クラスは教室ばかりでは無く、広い志賀高原スキー場を隅々まで堪能する「ゲレンデツアー」の

クラスもあり、さらに講習がメインのクラスでも、志賀高原で一番標高の低い蓮池スキー場や焼額・奥志賀といった志賀高原の最深部を講習バーンにしていたクラスもありました。

寺子屋スキー場山頂からは妙高・黒姫・夜間瀬などのスキー場が一望できました。

悪天候から晴天に深雪だぁ

天気も味方に

土曜日は朝から吹雪のような天気で、どうなるものやらと心配していましたが、日曜日はやや小降りとなり、月曜日・火曜日には晴れ間も見えるという絶好のスキー日和でした。

また、締まった雪の上に新雪が降り積もり、そこここで新雪や深雪を楽しむことができ、参加者から歓声が上がっていました。

天気も味方してくれた祭典になりました。

【教室参加者の声】

丁寧に教えていただき、楽しく滑ることができました。
ありがとうございます。
次回も参加したいです。

人数が多くなく、良かったです。新雪の中を滑るのがとても怖かったのですが、コーチの指導で多少楽しんで滑れるようになりました。
ありがとうございました。
楽しい2.5日でした。

２日目、天候が悪く雪質も不安定でした滑れるか心配でした。
指導は余り細かなことはいわれませんでしたが、基本的なことも織り込んで指導していただくと、じつによいすべりができた。
オリンピックのゲレンデで思うように滑れませんでした。コーチと同じチームの方のサポートで無事滑り降りることが出来た。
最後の日、他のコーチに基本的なことも教えていただき、とても苦手なふわふわ雪を滑り降りることが出来、満足しました。

ビデオを写したり、（寒いのに）個々の目標を示してアドバイスしてくれたりと、とても丁寧な指導をしてくれました。

バカ面踊り最高

鳴海コーチのハーモニカに若返り効果!?

いつにない賞品に　燃え上がる参加者たち

夜の大交流会は、もうスキー祭典の定番ともいえる佐藤秋雄さんの「バカ面踊り」で大盛り上がり、お囃子のＣＤが聞けなかったため、急遽参加者全員で人間お囃子になり、これが又大受けで、のどを枯らしながらピーヒャラ♪ピーヒャラ♪つんつくてん♪と何度も何度も叫んでいました。

バカ面踊りの後は一転、鳴海指導員のハーモニカタイム。曲目によってハーモニカを取り替えるこだわりにみんなビックリ！

しっとりとした曲から元気な曲まで沢山の曲を演奏していただき、みんなで声を合わせて歌いました。

ラストはこれも恒例となっているゲーム‼

ちばスキー協運営委員の藤本さんと、お友達の須賀さんによるゲームは、巧みに参加者の競争心をあおり、ついつい夢中にさせられてしまいます。

さらに、今年は東京から転籍してこられた喜来指導員お手製のバック等が賞品に出され、ゲットした参加者から歓声が上がっていました。

参加者の皆さん、また来年祭典でお目にかかりましょう。

常任理事会報告

第47期第12回常任理事会
　２月２０日（木）県連事務所において常任理事８名の参加で開かれた。
〈報告･連絡事項〉
ランニング　5/24(日)開催のリレーマラソンは225チームの申し込み。
ミックスバレー　試合会場を確保。5/3、2021/１/11松山下 8/9、11/15磯辺で開催。
卓球　1/25冬季大会は締切日前に定員に達した。
テニス　チーム対抗、春季大会、男子シニア大会を実施。
サッカー　1/26、2/16リーグ戦実施。
野球　2/16審判講習会は雨天のため座学のみとなった。
空手　冬季大会の受付開始。
スキー　2020/2/8－10志賀高原にてスキー祭典。51名参加。

〈協議事項〉
・種目別協議会との懇談を行ったが総会までに検証する。
・財政について、事業収入に頼った形でよいのか、会費値上げも検討せざるを得ないか他県等の状況も見ながら検討していく。
・総会準備に向けてタイムスケジュールも含めて検討した。
・ひろば誌の郵送料金請求を実態に合わせ値上げの提案をしていく。総会に諮ることとした。
・Sports Netちばの執筆順番の調整。
・千葉県連盟50周年記念行事を11/14(土)に行う。穴川コミュニティセンター多目的室。
・郵便局の払込取扱票が有料化されるにあたり、各協議会に意向を打診することとした。
・全国の取り組み①　今年7月に予定されている反核･平和1800㎞マラソンに向けて、1/16宇都宮から東京･夢の島80㎞の現地調査を実施。歩道がないところもあるなど課題を全国に提案していく。
・全国の取り組み②　千葉県で行われる全国スポーツ祭典はミックスバレーボール、テニス、野球。それぞれ会場を確保した。個別の支援は不要だが、宿泊の確保について要請あり。

スポーツアラカルト

テニスとバレーボールの関係色々

　現在私は競技テニスと家庭婦人バレーボール（９人制）をしております。
　テニスは個人スポーツ（自分次第で結果が出る)、バレーボールは団体スポーツ（チーム全員で結果を出す）です。
　以前は学生時代からプレーしているバレーボールは好きではありませんでした。
　家庭婦人バレーを始めて十数年、ある時ハッと思った事。バレーは一人頑張っても点は取れない！取れるのはサービスエースのみ。アタックで決められるのは先ずレシーブ続いてトスと２人の力を借りないとポイントは取れない！チームメンバーのお陰でポイントを決める事が出来てた！チームメンバーへの感謝に遅まきながら気が付いた時、バレーボールってなんて素晴らしいスポーツだろうと思いました。他にこういうスポーツは無いですね。
　テニスは壮年になって始めたスポーツ。バレーのような訳にはいかずのめり込んでしまいました。
　シングルスが好きだったので自分次第で勝敗は決まる！対戦相手との駆け引き（相手の心を壊す）も楽しく、技術向上練習は嘘を付かない！自分に必ず跳ね返って来るのが楽しい。無理をしなければ同じ年代の人達と８０代になっても楽しめる良さがあります。
　両方の楽しさ・良さに気が付いたら両方とも出来るうちは辞めないと思う様になりました。
　さて、調べてみるとテニスとバレーは深く因縁があるスポーツのようです。
　テニスの発祥は紀元前エジプトに壁画が残されておりスポーツとしてではなく、宗教的な意味を持っていたようです。
　その後１１～１２世紀のフランスで当時貴族が手で打ち合っていたが、痛いので後にラケットが誕生。１６世紀イギリスに渡りロイヤルテニスとして競技される様になりました。
　テニスと名付けられたのは色々な説があるが、フランス語で「つかむ」Tenir（トウニール）→Tenez（トウネ)。Tenirの命令形、相手に何かを差し出す際に言う「ほら」「さあ」「そら」の意味を持ち、サーブを打つ際に相手に向かって「さあいくよ」の掛け声をしていたことからテニスへと変化したようです。
　バレーボールの発祥は、１８９５年ミントネットとしてアメリカで生まれ１８９６年にバレーボールと改名しました。VOLLEYBALLはテニスのVOLLEY（ボールを地面につく前に打ち返すこと）をヒントにして名付けられました。
　まだまだ調べてみると成程と思う事項が有るのですが、この続きはまた次の機会に！！

常任理事　　吉　田　嬌　子

冬季オープン卓球大会

定員オーバーの申込にうれしい悲鳴

2020年1月25日（土）昨年に引き続き冬季オープン卓球大会を千葉市花島公園体育館にて開催しました。

2ダブルス3シングルの団体戦方式は「ペアマッチ」同様、新日本スポーツ連盟が取り入れた方式で充実感のある大会となることができます。

5から6チームでのリーグ戦方式なのでたくさんの試合ができ、皆さんに満足のいただける大会となりました。

一方、申し込みが殺到し参加を断る場面があり、申し訳ないことをしました。今後は定員を入れた案内を出すことにします。

試合は、ランク別に男子はAからEブロックの5ブロック、女子はAからDまでの4ブロックに分かれて熱戦が繰り広げられました。

卓球の魅力は、縦2.74ｃｍ横1.525ｃｍのテーブルでくり広げられるラリーとボールの回転に対する技の応酬です。

今大会出場チームは大変レベルが高く、激しいラリーの応酬、「チキータ」「強烈ドライブ」「各種最新必殺サーブ」と卓球の魅力満載のゲームが展開されました。

下位ブロックのチームも、試合終了後互いに感想を出し合うなど次のステップへの準備を進めていました。

各ブロック優勝は次のとおりです。

【男子】

Aブロック　東雄クラブ　Bブロック　たくえいA

Cブロック　DRL　　Dブロック　ヤチスマB

Eブロック　チームOTAKI

【女子】

Aブロック　杏仁クラブ　　Bブロック　みどり

Cブロック　幸B　Dブロック　花見川卓球クラブ

各チームの感想

◎今回は女子二人と一緒に初めて参加させていただきました。沢山試合ができ楽しかったです。また、接戦を制することができたので良かったです。ありがとうございました。（DRL）

男子Cブロック優勝ＤＲＬの皆さん

◎男子Bブロック2位でした。楽しかったです。また来ます。（トリプレッタ・岡崎）

◎4人の力を合わせて全勝で優勝できてよかったです。一日楽しく過ごせました。ありがとうございました。（幸B）

◎丁度良い時間に終わってよかったです。２Ｗ１Ｓの形式はとても良いと思います。Aブロックの皆さんは強くて勉強になりました。また、来年も参加させてください。（杏仁クラブ）

女子Aブロック優勝の杏仁クラブの皆さん

◎チームOTAKIフルメンバーに有力助っ人のおかげで初優勝することができました。感謝！

（チームOTAKI・山口）

◎みんなの協力で優勝することができました。これからも練習に励み頑張っていきます。

（花見川卓球クラブ）

オリンピックイヤーということもあり、盛り上がった大会でした。

（文責　日野正生）

新型コロナウィルスに関する新日本スポーツ連盟の見解と千葉県連盟の見解

２月２８日（金）新日本スポーツ連盟は新型コロナウィルスの感染拡大に伴い、地方組織、種目別組織の大会・行事開催についての目安ともなる文章を発信しました。（下に全文を掲載）

新日本スポーツ連盟千葉県連盟（以下「県連盟」）もこの通知を受け、ホームページに県連盟の基本的な考えや、当面の対応についてアップロードさせていただきました。

４月以降の大会開催については、新型ウィルスの感染拡大の状況などを見ながら、理事会や常任理事会、各協議会で判断していくことになります。

参加・出席を予定されている方はホームページや県連盟に問合せをするなど、細かな情報収集をお願いします。

なお、３月に予定していた県連盟総会はこうした状況を受け、延期させていただくことにしました。

各種行事での新型コロナウイルス対応について

２０２０年２月２８日現在

各地で各種行事にご苦労されていることと思います。特に、このところの新型コロナウイルス感染拡大での政府専門委員会、厚労省、政府の会見が連続して開かれ、感染拡大を予防するための取り組みの要請があり、判断しなければならないことからなおさらと思います。

全国連盟にも問い合わせが続いていますので、次の内容を考慮した判断をお願いいたします。

１、２月26日の首相会見で「全国的スポーツ、文化イベント等については、今後２週間は、中止、延期又は規模縮小等の対応を要請する」との話があり、スポーツ庁もこれに準じて「今後２週間に予定されているものについて，中止，延期又は規模縮小等の対応をしていただくようお願いします」と出ています。

一方、「全国一律の自粛要請をおこなうものではない」とも出されています

２、今回の総会開催延期の判断と各種目、各連盟の行事（大会）は同じに判断するものではありません。

３、これから開催する予定の各行事については、これまでの政府見解、専門委員会などの見解でも「一律に自粛」ではありません。「自粛」に関しては、「規模の縮小」の要請がありますので、クラブなどの日常練習は今のところ、平常通りでいいと思います。大会については、公共施設が貸し出しを許可し、規模が100人程度で、地域がある程度限定されていれば、実施可でいいと思います。主催者が、それぞれの施設管理者の判断や見解、行事内容、開催地での感染状況、屋外・室内などの場所など、それぞれの条件で判断ください。

また、開催する場合は、主催者が感染防止に向けたアルコールなどの準備や周知徹底の可否などの検討が必要です。

特に、新型コロナウイルスの主な感染経路は、せきやくしゃみなどのしぶきを吸い込むことなどによる飛沫感染や、ウイルスの着いた手で鼻や口の粘膜を触ることなどによる接触感染とされていますので、症状のある方は参加自粛ではなく「参加をしない」と明確にすべきです。

４、自粛するだけでなく、自粛に伴う経費の負担増について、施設管理者や自治体等に要望することも必要です。さらに、政府の財政措置の増大についても声を上げていきましょう。

以上、刻々と変化しますので難しい判断もありますが、対応をお願いいたします。

新日本スポーツ連盟　理事長　石川　正三

SPORTS CALENDAR

３月

３月　１日（日）　サッカー協議会シニア大会
３月　７日（土）　男女別３ペアチーム対抗テニス大会
３月　８日（日）　祭典・空手大会（中止）
　　サッカー協議会オープン戦
３月１２日（木）スリーダブルスお花卓球大会（中止）
３月１３日（金）　月例ウォーキング（中止）
３月１４日（土）　春季テニス大会
３月１５日（日）　サッカー協議会リーグ戦
３月２１日（土）　混合ダブルス
　　３ペアチーム対抗テニス大会
３月２９日（日）　サッカー協議会リーグ戦

全国連盟総会　　３月１４日（土）・１５日（日）
　　延期・時期未定
千葉県連盟総会　３月２０日（金・祝）　　延期

４月

４月　５日（日）　野球協議会リーグ戦
　　ミックスバレー協議会総会（予定）
４月１２日（日）　野球協議会リーグ戦
４月１７日（金）　月例ウォーキング（予定）
４月１９日（日）　野球協議会リーグ戦
４月２５日（土）　春のバレーボールフェスティバル
４月２６日（日）　野球協議会リーグ戦
　　なのはなテニス大会
　　春のバレーボールフェスティバル

県卓球協議会総会　４月１８日（土）予定
県連盟理事会　　４月１６日（木）予定
県連盟総会　　４月３０日（木）予定

今 競歩が熱い！
金メダル候補になるための努力とは？

酷暑の中で行われる予定であった2020東京大会オリンピック競技の内、マラソンと競歩が北海道・札幌市で行われることになったことは読者諸兄もご存知でしょう。

2019年ドーハで行われた世界陸上で50km・20km男子競歩部門でいずれも金メダルをゲットしたことで東京オリンピックでも俄然金メダルに最も近い種目になってきているのが競歩です。

競歩に「歩」という言葉が表記されるのでマラソンより遅いイメージを持たれる方も少なからずおいでになるかもしれませんが、50kmという長距離を4時間弱で歩き抜くスピードには驚嘆させられます。筆者も競歩の選手と走ったことがありますが、とてもついていけませんでした。

あの独特のフォームは、常にどちらかの足が地面に接していることが求められ、一瞬でも地面から足が離れるとペナルテイー（ロス・オブ・コンタクト）を取られる。また、着地した足は体の真下に来るまで膝を曲げずまっすぐに伸ばしておくルール（ベント・ニー）があるので、あのアヒルを思わせる独特な走り方？になるわけです。

おまけにコースは1周2kmのコースをクルクルまわるのはこれらの動作を目を皿のようにして審判がチェックしやすいように設定されていることから、選手としては気を抜けず体力面以外にも神経戦の様相も呈することになります。

しかし、金メダル候補になるまでの道のりは一朝一夕に達成されたわけではありませんでした。2003年パリで開催された世界陸上に日本から5名の選手が出場したものの3名が完走できなかったことから関係者の間では「パリの悲劇」と言われています。

いわばどん底の状態から世界のトップに上り詰められたのは、世界標準ルールを国内のローカル大会にも積極的に採用、審判も世界レベルの方を招聘するなどの努力が実を結んだからと関係者は言います。

東京大会での金メダル候補となる競歩には、選手は勿論のこと、多くの関係者の汗と涙が詰まっています。そんなエピソードを知って競技を観戦するのも一興ではないでしょうか？